

科目名	コンサルテーション論 Nursing Consultation		科目区分	共通	単位数	2単位
教員名	心光世津子*, 長崎由紀子*, 高橋知子**, 大石ふみ子*, 服部希恵** *:実務家教員 **:実務家		必修・選択	選択	開講年次	第1学年
					開講学期	後学期
科目概要	保健・医療・福祉に関わる看護職及び他専門職に対して、ケアを提供する際に生じる諸問題を解決していくのを助けるためのコンサルテーションの理論と方法を学ぶ。コンサルテーションの概要、目的、タイプ及びコンサルテーションのプロセスを理解するとともに、個人及び集団のダイナミクスを通して、医療・看護領域の諸問題に対応したコンサルテーションのあり方を追究する。					
目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 コンサルテーションの基本概念及び理論的基盤を説明できる。</li> <li>2 コンサルテーションのタイプ及びモデルを説明できる。</li> <li>3 ケア提供者の問題解決を助けるためのコンサルテーション・プロセスを説明できる。</li> <li>4 医療・看護場面における諸問題に即応したコンサルテーション技法を説明できる。</li> <li>5 グループ・コンサルテーションの実際を通して、専門看護師の果たす役割と今後の課題を説明できる。</li> </ol>					
内 容	1	R5.10.2(月) 6～7限 【対面】	概念	コンサルテーションの概念と歴史的変遷：基本概念及び定義，歴史的変遷	心光世津子	
	2		理論的基盤	生涯発達モデル，ストレス対処モデル，危機モデル，対人関係・対象関係モデル，集団力動モデル	心光世津子	
	3	R5.10.13(金) 6～7限 【対面】	モデル	コンサルテーションの基本的構造	心光世津子	
	4		構造	コンサルタントとコンサルティとの援助的關係における相互作用	心光世津子	
	5	R5.10.23(月) 6～7限 【対面】	介入技法①	個別面接	高橋知子	
	6		介入技法②	グループアプローチ	高橋知子	
	7	R5.10.28(土) 1～3限 【対面】	コンサルタントの役割と能力	高度実践看護師の役割とコンサルタントとして求められる能力	服部希恵	
	8		コンサルテーションの実際①	事例検討：患者及び家族の問題	服部希恵	
	9		コンサルテーションの実際②	事例検討：患者をめぐる医療スタッフ間の問題	服部希恵	
	10	R5.11.6(月) 6～7限 【対面】	評価方法	コンサルテーションの実際のプロセスと評価方法	大石ふみ子	
	11		アセスメントに基づく介入	隠れた力及び内面のプロセス，対面關係のダイナミクスのアセスメントと促進的なプロセス介入	大石ふみ子	
	12	R5.11.13(月) 6～7限 【対面】	事例分析①	患者及び家族と医療スタッフとの關係性に関するアセスメント，介入・評価	心光世津子 長崎由紀子	
	13		事例分析②	スタッフの諸問題に関するアセスメント，介入・評価	心光世津子 長崎由紀子	
	14	R5.11.22(水) 6～7限 【対面】	事例分析③	看護管理者が抱える問題のアセスメント，介入・評価	心光世津子 長崎由紀子	
	15		事例分析④	組織の特定管理上の問題を解決するプログラム開発，介入・評価	心光世津子 長崎由紀子	
学修方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業内容に関する文献をもとに事前・事後学修(90分以上)をして，授業に臨んでください。</li> <li>2 授業では学生主体のディスカッションを通して学修内容を深めていきます。</li> <li>3 授業後，講義内容なディスカッションした内容を振り返り，学修内容の確認をして学修効果を高めてください。</li> </ol>					
評価方法	課題提出(課題，レポート)60%，授業への参加度40%					
教科書・参考書	教科書：特に指定しない。適宜，資料を提示する。 参考書： <ol style="list-style-type: none"> <li>1 E.H.シャイン著，稲葉元吉・尾川丈一訳「プロセス・コンサルテーション：援助関係を築くこと」，(2002/3)，白桃書房，定価4,000円(＋税)</li> <li>2 E.H.シャイン著，金井壽宏監訳「人を助けるとはどういうことか：本当の「協力関係」をつくる7つの原則」，(2009/8)，英治出版，定価1,900円(＋税)</li> <li>3 W.B.レディ著，津村俊充・林芳孝他訳「インターベンション・スキルズ：チームが動く、人が育つ、介入の理論と実践」，(2018/8)，金子書房，2,800円(＋税)</li> </ol>					

履修上の 注 意 点	<ol style="list-style-type: none"><li>1 4分の3以上の出席がない場合は、単位を取得することができない。</li><li>2 20分以上の遅刻は欠席とみなす。</li><li>3 遅刻3回で欠席1回とみなす。</li><li>4 事例検討を行うので、各自が事例を準備し提供すること。事例検討は、グループ・コンサルテーションの技法を用いた討議を行うので、積極的に参加すること。</li></ol>
オフィスアワー	心光世津子：金曜日 16:30～18:00 C棟5階 教授室2 長崎由紀子：木曜日 16:20～17:50 基礎科学棟3階 N363研究室 ※ 兼任・非常勤講師については別紙にて配布する。